

ふるさと学習「みずほ学」 単元を通した「みずほ学」型学習過程 ～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～



「『み』つける」…課題を設定し、学習計画を立てる。

「『す』ずめる」…計画を基に追究し、まとめ、発信する。

「『ほ』ほえむ」…学びの達成感や成就感を味わう。

「みつける」時間

1 発見

◆課題発見のきっかけとなる出会いをする。

- これまでの生活経験や既習事項を想起する。
- 各教科等での既習事項、様々な行事等との関連を図る。
- 題材に十分ふれ、課題設定に結び付く体験的な活動をする。
- 「まちの先生（ゲストティーチャー）」等から学ぶ。
- 身近な事象とのふれあいを通して、疑問をもつ。
- 体験等により感じたことを発表し合い、感想交換の場をもつ。
- 感想の交換により、課題設定のイメージをつかみやすくする。
- 自分が取り組もうとする学習課題を絞る。

2 設定・計画

◆課題の設定・学習計画を立てる。

- 「発見」の学習を基に、価値ある課題を決める。
- 課題について、調べたいこと（学習のゴール）を明確にする。
- 学習のゴールを目指し、学習の方法や手順を計画する。
- 追究に必要な準備物を考える。
- どのようにまとめ、発信するのか計画する。
- 与えられた時間の使い方を考え、学習計画を立てる。
- 見通しのある学習を進めるための「学習計画表」を作成する。

「すすめる」時間

3 追究

◆情報収集・整理・分析しながら課題を追究する。

- 学習課題を振り返りながら、計画表を基に学習する。
- 毎時間の学習を振り返りながら、追究を進める。
- 考え・調べ・発見し・確かめながら、目標の達成に近づく。
- 見学・実験・観察を行い、必要なことを記録する。
- 「まちの先生（ゲストティーチャー）」等から詳しく学ぶ。
- 本・ビデオ・カメラ・電話・インターネットなどを活用する。
- 必要に応じて、インタビューやアンケートを行う。
- 情報交換を充実させ、新たな課題を見付ける。
〈例1〉中間発表日を設け、ワークショップ形式等で交流し合う。
〈例2〉毎時間、グループ学習等、交流の時間を設定する。
- 情報交換を基に、アドバイスし合いながら、追究を深める。
- 必要に応じて、計画を追加したり修正したりする。
- 学習のゴールにたどり着くまでに、発信の方法を見直す。

4 まとめ・表現

◆追究した成果をまとめたり発信したりする。

- 「学習計画表」を基に、一時間一時間を振り返る。
- 追究してきた学習の過程を整理する。
- 相手に伝わる分かりやすいまとめ方と発表方法を考える。
- 新聞・絵本・紙芝居・模造紙・レポートなどにまとめる。
- 表・グラフ・写真などを使って分かりやすくする。
- ビデオを使ったりクイズにしたりするなどの工夫をする。
- 実際に物を見せたりやって見せたりする工夫をして発表する。
- 自分が学んで得た気付き、思いや願い、喜びなどを伝える。
- 発表・発信により、自分の学びをより確かなものにする。
- 発信したいことは、まず、自分から実践する。
- 友達の発表からも学び、感想を伝える。
- 学んだことを自分の生き方に生かす。

だいすき
みずほ！

「ほほえむ」時間

- 「発見」の学習をする前の自分と比べ、その変容を感じる。
- 自分の学びに自信をもち、達成感や成就感を味わう。
- 学びを深めたり広げたりし、生活に生かしていこうとする。